



ユーザーマニュアル

ワンラムダ社

HLA Fusion 4.1 インストールマニュアル

HLA Fusion4.1 ユーザーマニュアル

目次

目次	1
1. はじめに	2
1.1 インストール可能な環境	2
1.2 HLA Fusion4.1 の変更点	2
2. インストール	4
2.1 インストール手順	4
2.2 HLA Fusion のバージョン確認	7
3. 初期設定	8
3.0 Database Utility とは	8
3.1 データベースの作製	9
3.2 既存データベースの Upgrade 方法	12
3.3 血清型ファイル (必須)	16
3.4 NMDP コードのインポート (任意)	18
3.5 カタログファイル (必須)	19
3.5 日本人フィルター	23
4. 困ったときは	26
4.1 問い合わせ先	26
4.2 FAQ	27

HLA Fusion4.1 ユーザーマニュアル

1. はじめに

1.1 インストール可能な環境

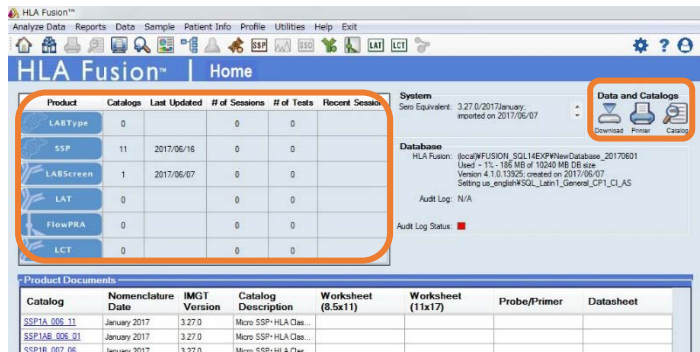
HLA Fusion4.1 をインストールする際、過去の Fusion がインストール済みでも問題ありません。また、過去の HLA Fusion に 4.1 が上書きされることはありません。

HLA Fusion 4.1 は以下のコンピューター環境に対応しております。インストール前にご確認ください。

対応 OS	<ul style="list-style-type: none">Microsoft® Windows 7 (32 bit or 64 bit)Microsoft® Windows 8.1 (32 bit or 64 bit)
ハードウェア環境	<ul style="list-style-type: none">CPU : 1GHz Pentium Processor 以上ハード空き容量 : 1GB 以上RAM : 512MB 以上VGA display : 1280×960 以上の解像度を推奨
インストールおよび解析に必要なプログラム	<ul style="list-style-type: none">以下のプログラムがインストールされていない場合は、HLA Fusion 4.1 インストール時に自動的にインストールされます。Microsoft .NET Framework 4.5.1Visual JSharpMicrosoft SQL 2008 R2 あるいは Microsoft® SQL Express 2014 (+Microsoft .NET Framework Version 3.5 SP1)

1.2 HLA Fusion4.1 主な変更点

- ・ ユーザーインターフェースを見やすいよう変更
- ・ アイコン表記、結果表記など見やすいよう修正



- ・ LABType XR, CWD に正式対応
- ・ Windows7, 8 に対応。Windows XP, 10 には非対応
- ・ LABScreen の測定データを import する際、Combine する機能を削除 (解析画面で Combine 可能です。詳細は解析マニュアル参照。)

HLA Fusion4.1 ユーザーマニュアル

* 参考 *

- ・ インストール CD 内の設定済みデータを使う (推奨)

インストール (p3)
↓
データベースの読み込み (p8)
↓
各種ファイルの更新 (p14)

弊社で各種設定をしたバックアップデータを使います。
カタログファイル、血清型ファイルなど各種ファイルのインポート、出力設定など実施済みです。

- ・ 自分で新規設定を行う

インストール (p3)
↓
データベースの作製 (p9)
↓
各種ファイルの更新 (p14)

初期設定から自由に設定できます。
必要なファイル等はご自身でダウンロードして下さい。

- ・ Fusion2.0~3.5 を使用しており、データベースはそのまま使いたい

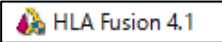
インストール (p3)
↓
データベースのバックアップ・アップグレード (p12)
↓
各種ファイルの更新 (p14)

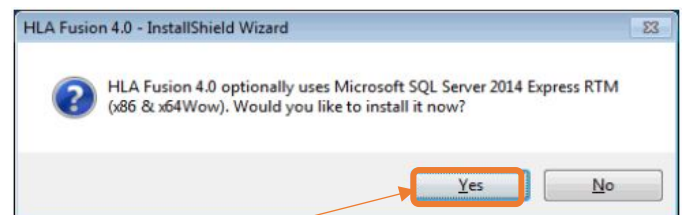
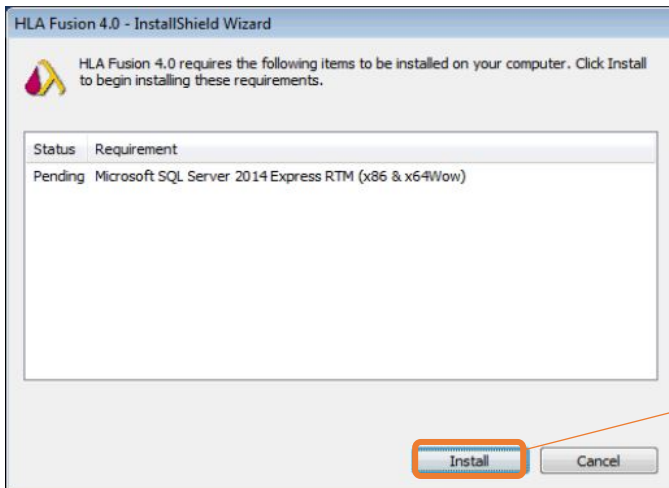
今まで使っていた HLA Fusion の設定をそのまま反映させたい場合はこちらです。

HLA Fusion4.1 ユーザーマニュアル

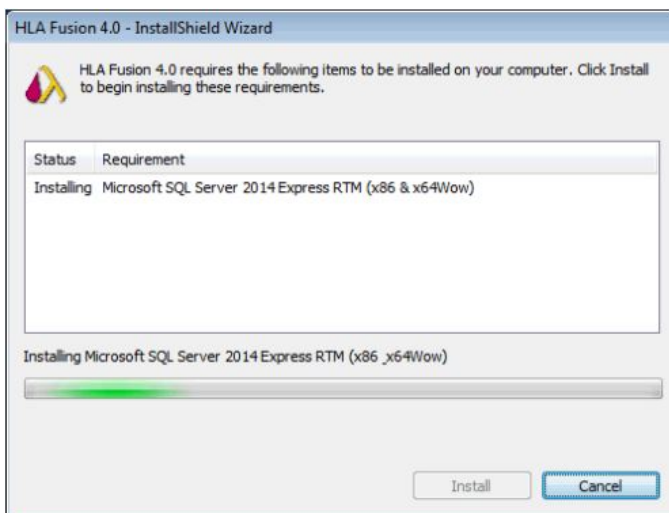
2. インストール

2.1 インストール手順

1. インストール CD を PC に入れ、HLA Fusion 4.1 のアイコン  をクリックし、インストールを開始します。
2. 1.1 インストールおよび解析に必要なプログラムがインストールされていない場合、必要なファイルを自動的に検出しインストールをします。Install→Yes とクリックして下さい。



3. インストールが始まりますので、完了するまでお待ちください。



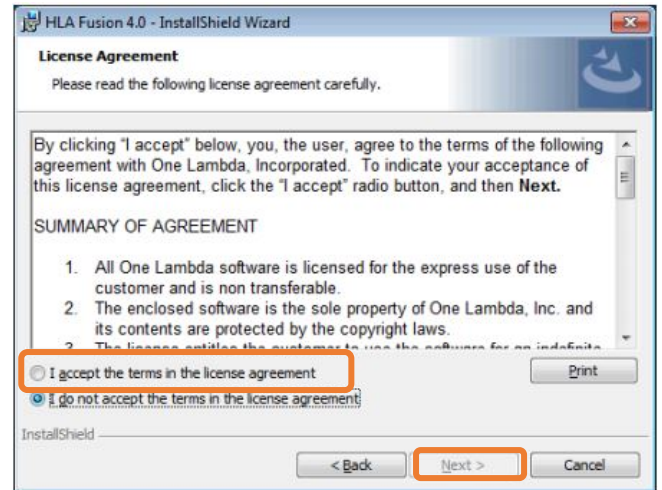
*インストール環境によっては自動的に PC の再起動が生じるケースもございます。再起動後、Install Shield Wizard が消えていたら再度  をクリックし、アプリケーションを起動してください。

HLA Fusion4.1 ユーザーマニュアル

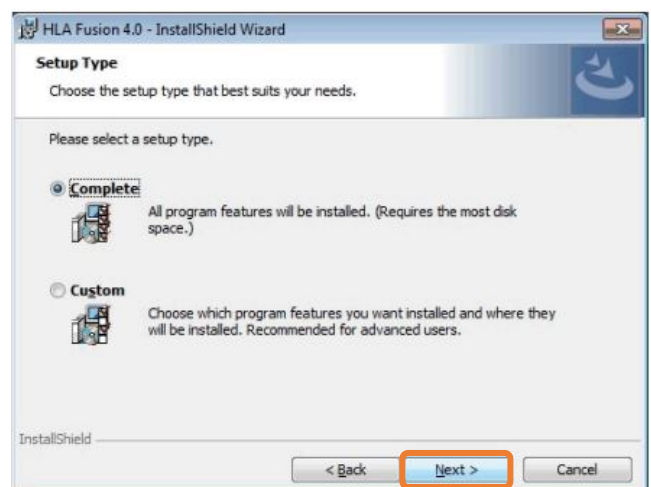
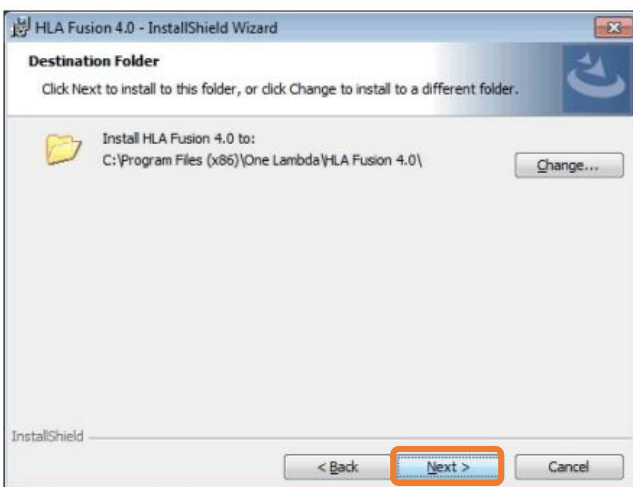
4. 続いて、HLA Fusion 本体のインストールが始まります。



Next→I accept…(利用規約に同意します)を選択し、Next を選択します。

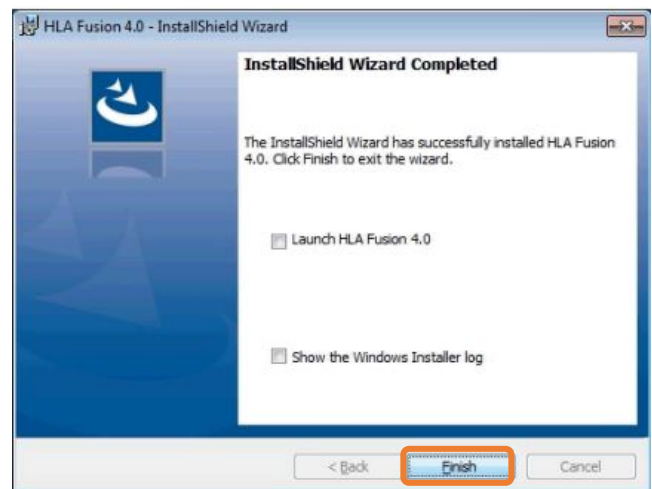
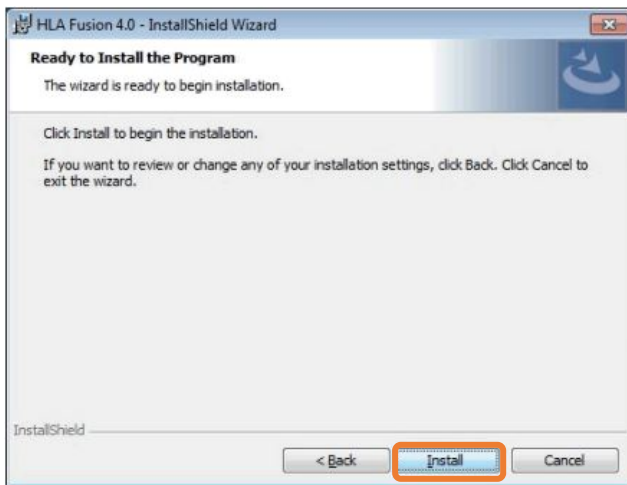


5. 保存先のフォルダは変更せず、そのまま Next をクリックします。次の Setup type も Complete のまま変更せず Next をクリックします。



HLA Fusion4.1 ユーザーマニュアル

6. インストールの準備が整いましたので Install をクリックします。終了後、Finish をクリックします。

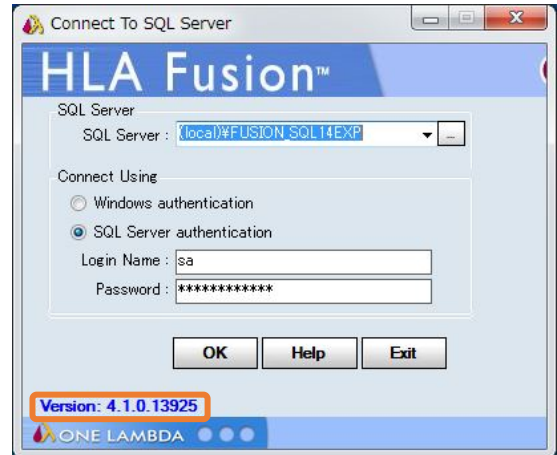
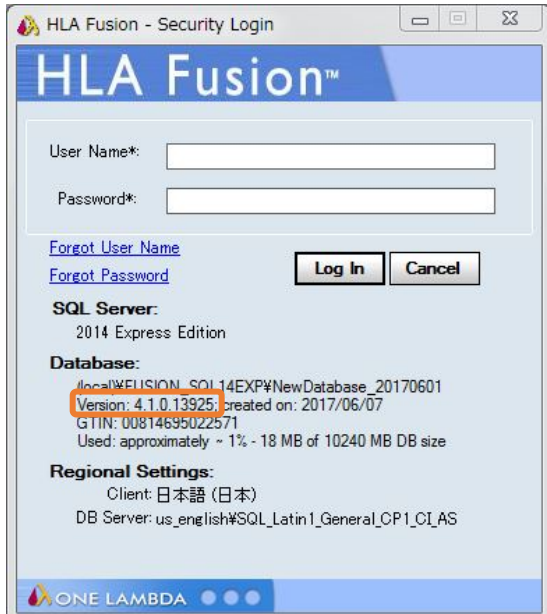


インストール終了後は「3. 初期設定」でデータベースの設定をしてください。

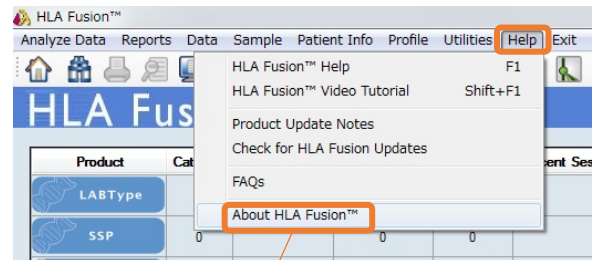
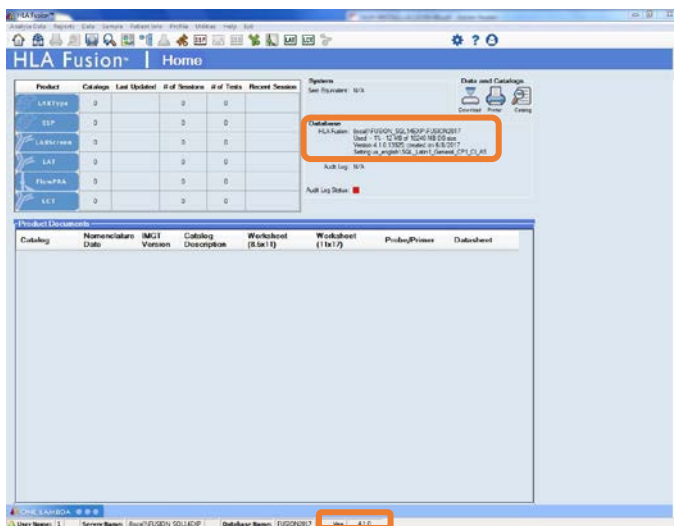
HLA Fusion4.1 ユーザーマニュアル

2.2 HLA Fusion のバージョン確認

ログイン画面や解析画面で確認ができます。




インストール CD 内のバック
アップデータを用いた場合
User : 1
Pass : 1

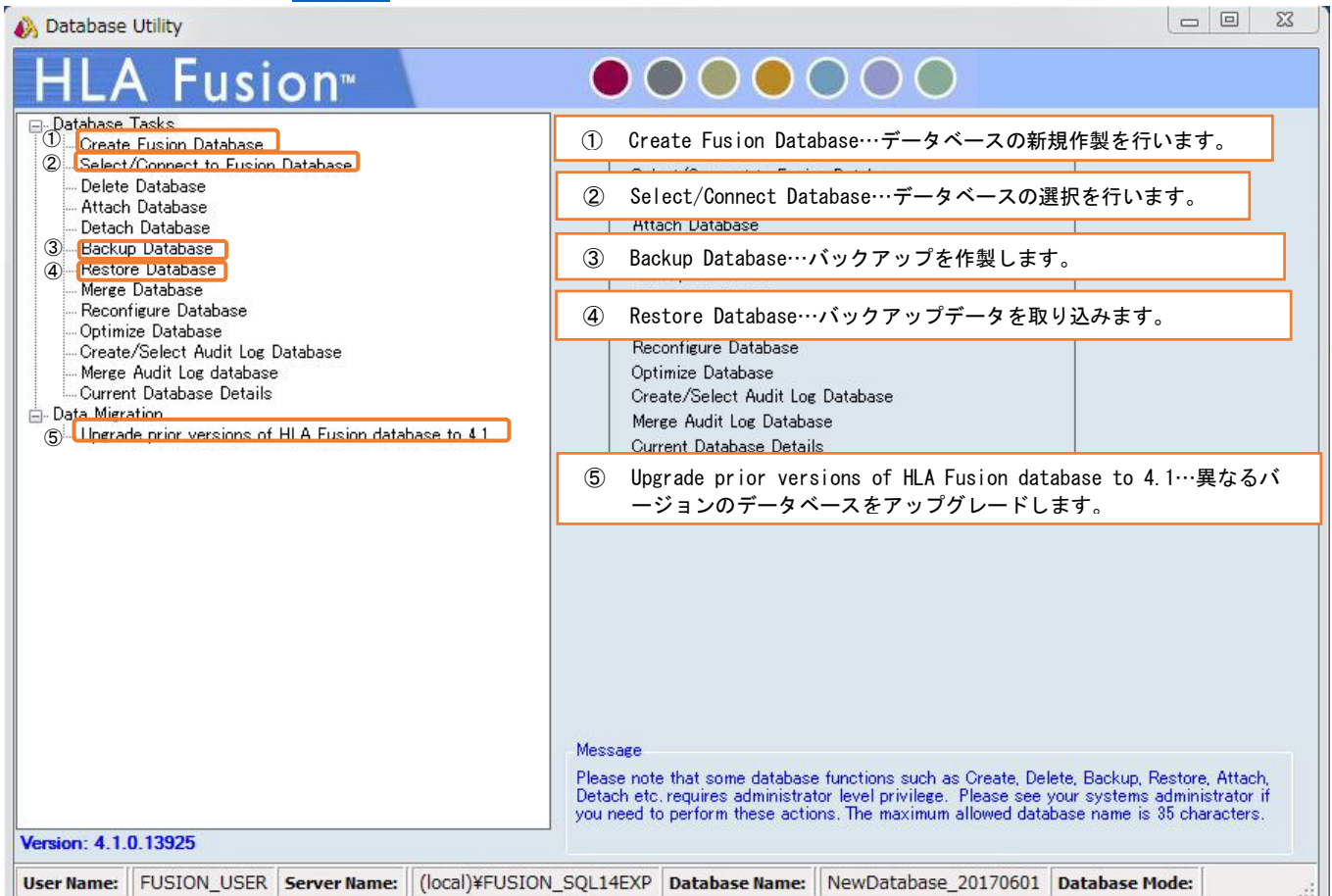


HLA Fusion4.1 ユーザーマニュアル

3. 初期設定

3.0 Database Utility とは

Database Utility では  Fusion のデータベース作製、変更、バックアップの作製等が行えます。



The screenshot shows the Database Utility application window. The left pane lists tasks under 'Database Tasks' and 'Data Migration'. The right pane provides descriptions for the first five tasks. A message box at the bottom states that some functions require administrator privileges.

Task	Description
① Create Fusion Database	データベースの新規作製を行います。
② Select/Connect to Fusion Database	データベースの選択を行います。
③ Backup Database	バックアップを作製します。
④ Restore Database	バックアップデータを取り込みます。
⑤ Upgrade prior versions of HLA Fusion database to 4.1	異なるバージョンのデータベースをアップグレードします。

Message
Please note that some database functions such as Create, Delete, Backup, Restore, Attach, Detach etc. requires administrator level privilege. Please see your systems administrator if you need to perform these actions. The maximum allowed database name is 35 characters.

Version: 4.1.0.13925
User Name: FUSION_USER Server Name: (local)\#FUSION_SQL14EXP Database Name: NewDatabase_20170601 Database Mode:

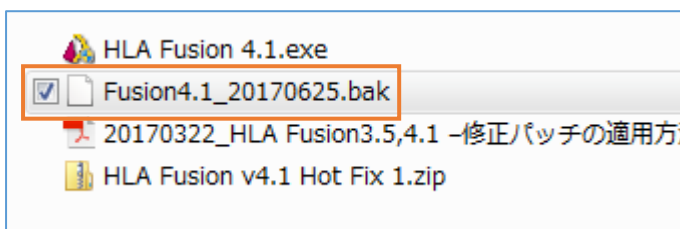
HLA Fusion4.1 ユーザーマニュアル

3.1 データベースの作製

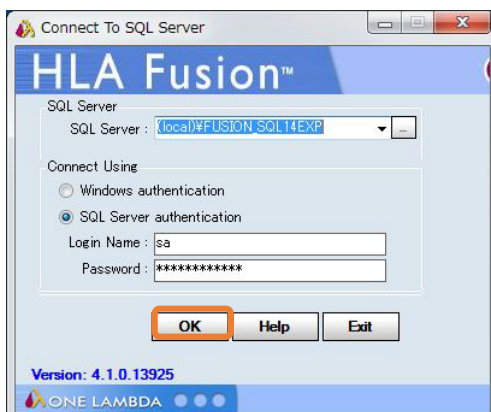
3.1.1 インストール CD 内のデータを使う場合 (推奨)


初期設定用データベース「〇〇〇(日付).bak」では各種設定済みで、カタログファイル等も〇〇の日付時点までアップデート済みです。なお、このデータベースはインストール CD にコピーしてベリタスがお送りしております。CD が必要な際は techservice@veritastk.co.jp までご連絡下さい。

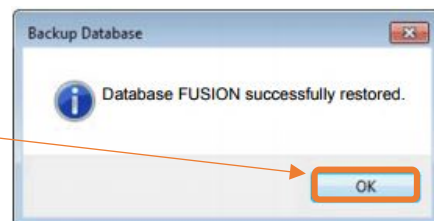
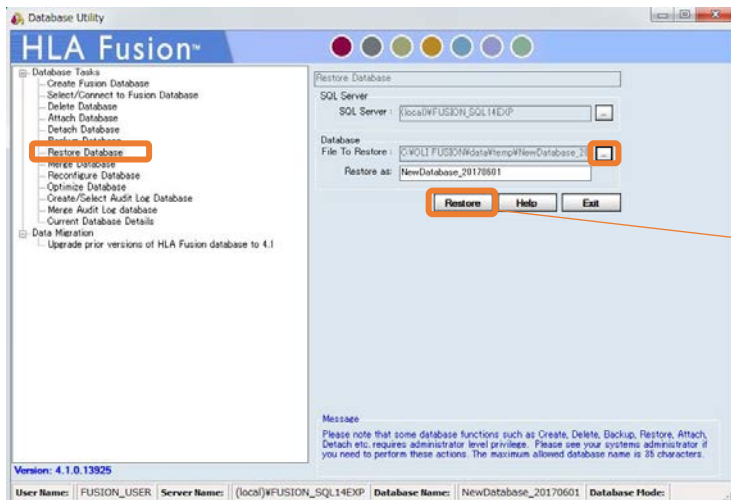
1. インストール CD 内にある「〇〇〇(日付).bak」ファイルをコピーし
C:\¥OLI FUSION¥data¥temp へ保存します。



2. デスクトップの Database Utility アイコン  をダブルクリックし、OK をクリックします。

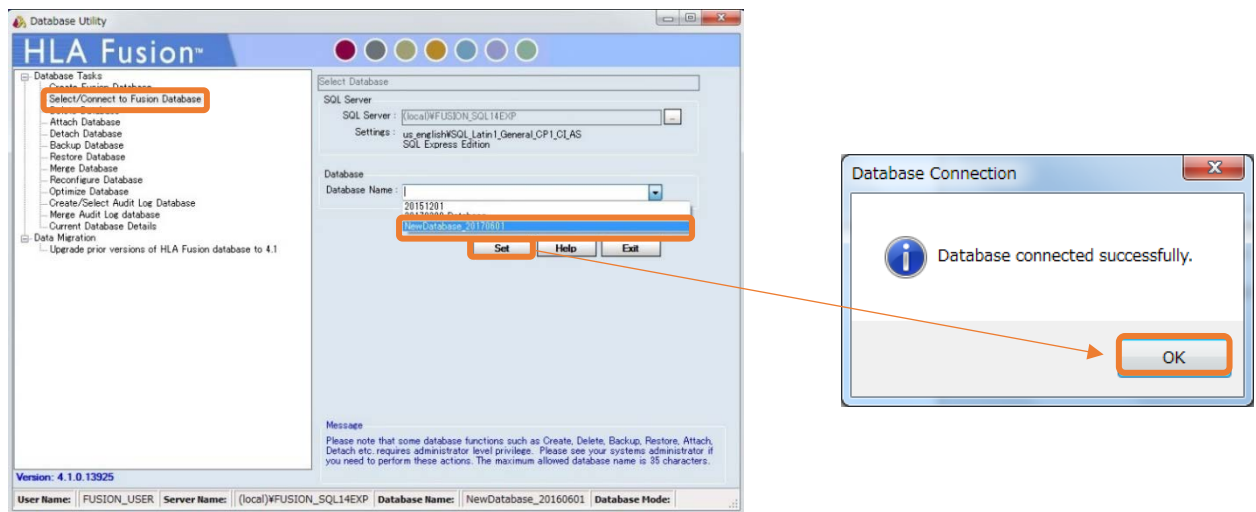


3. Restore Database を選択します。画面右側の  ボタンをクリックし、1 で保存した「〇〇〇(日付).bak」ファイルを選択し Restore をクリックします。成功すると下記のメッセージが出ますので、OK をクリックしてください。



HLA Fusion4.1 ユーザーマニュアル

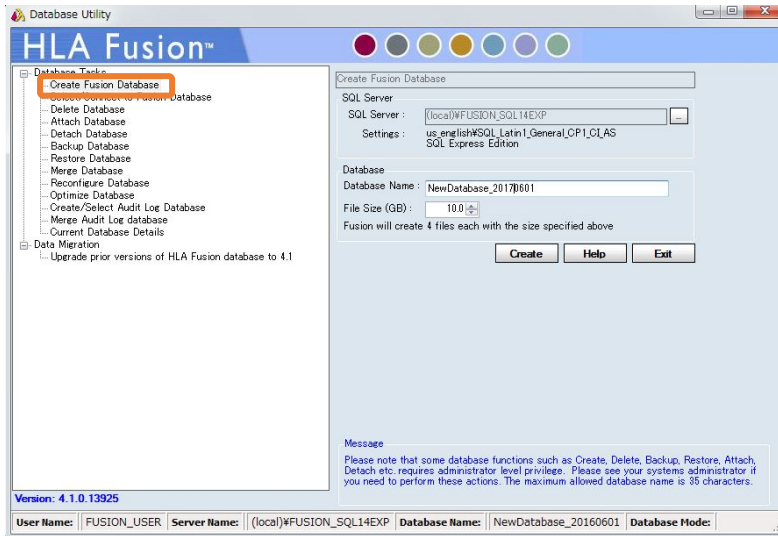
4. 続いて、画面左側より Select Connect to Fusion Database を選択します。右側の Database Name から先ほど取り込んだデータベースを選択し、Set をクリックします。データベース接続が成功すると以下のメッセージが出ます。



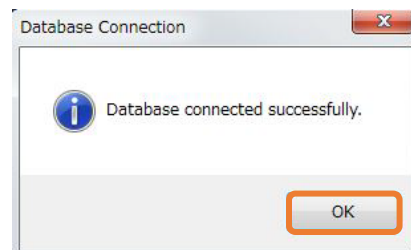
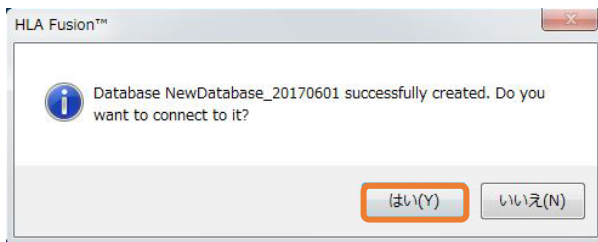
HLA Fusion4.1 ユーザーマニュアル

3.1.2 データベースを新規で作製する場合

Create Fusion Database をクリックします。Database Name を入力し、File Size (0.5~10.0GB) を設定後、Create をクリックします。



データベースが作製されると下記メッセージが現れます。「はい(Yes)」を選択すると、HLA Fusionはそのデータベースを使い始めます。



HLA Fusion4.1 ユーザーマニュアル

3.2 既存データベースの Upgrade 方法

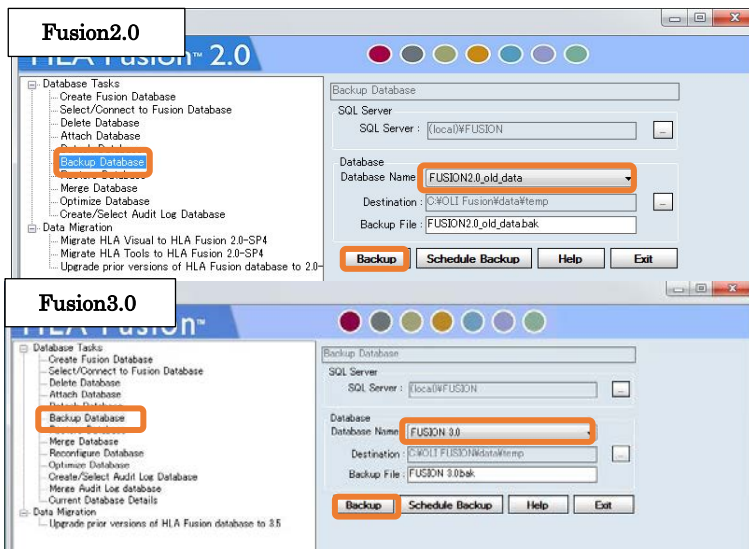
HLA Fusion 2.0~3.5 のデータを 4.1 に移したい場合、下記手順を実施して下さい。
3.2.1、3.2.2 どちらのケースでも、マニュアル通り必ずバックアップデータを作成してください。

HLA Fusion 1.3 → HLA Fusion 4.1 など、HLA Fusion 2.0 以前のデータベースから HLA Fusion 4.1 へアップデートはできませんので、データベースは HLA Fusion 2.0~3.5 にアップデートしているものをお使いください。

3.2.1 同じ PC 内でデータベースを移行する場合

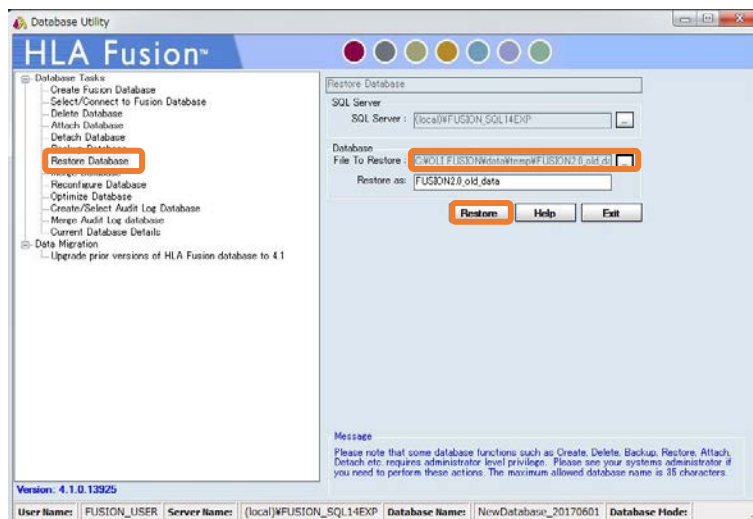
1. 旧バージョンの HLA Fusion Database Utility を起動します。

画面左側から Back Up Database を選択し、画面右側でバックアップしたい Database を選択します。
その後、Backup をクリックします。(データが多い場合は数分かかります。)



データベースが複数ある場合は、上記の操作を繰り返します。

2. HLA Fusion 4.1 の HLA Fusion Database Utility を開き、画面左側の Restore Database をクリックして下さい。その後、画面右側の「File To Restore」の ボタンから先程保存した .bak ファイルを選択し、Restore をクリックします。データベース名を変更したい場合、Restore as の欄で入力可能です。複数ファイルある場合はこの操作を繰り返します。



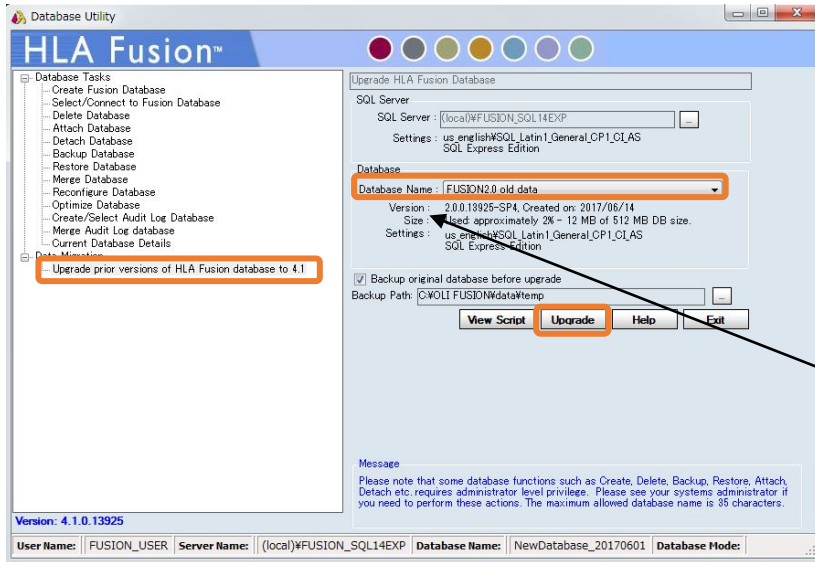
HLA Fusion4.1 ユーザーマニュアル

3. その後、Select/Connect Database からデータベースを接続します。

4. 最後に Database のバージョンを Upgrade します。

画面左側から、「Upgrade Prior version of HLA Fusion…」をクリックします。

画面右側より、先程 Restore したデータベースを選択し、Upgrade ボタンを押します。複数ファイルある場合はこの操作を繰り返します。

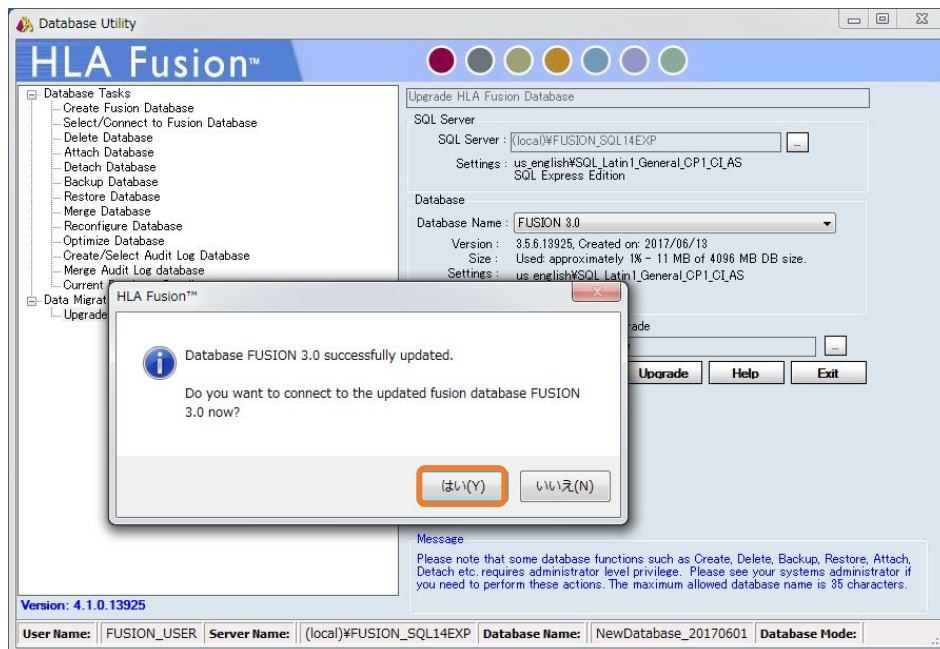


〈データベースの Upgrade〉

Version	
・ 2.0, 2.0sp1~4	→ 4.1 ◎
・ 3.0~3.5	→ 4.1 ◎
・ 1.0~1.3	→ 4.1 ×

データベース Version が 1.0~1.3 の場合、HLA Fusion2.0 等で一度 2.0 以上にアップデートしてください。

5. Upgrade が終わると、「Database に接続しますか？」と聞かれるので「はい」を選択します。以上でデータベースの移動が終了です。

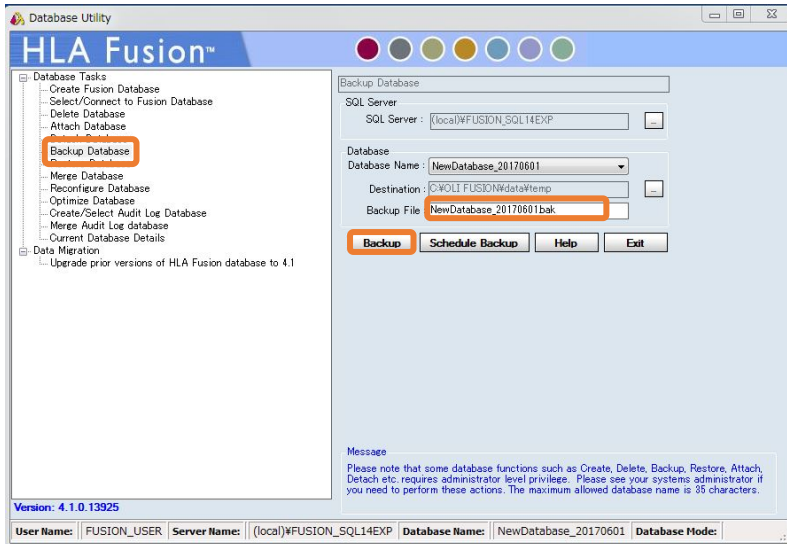


HLA Fusion4.1 ユーザーマニュアル

3.2.2 異なる PC 間でデータベースを移行する場合

1. 旧バージョンの HLA Fusion Database Utility を起動します。

画面左側から Back Up Database を選択し、画面右側で Back Up したい Database を選択します。その後、Backup をクリックします。(データが多い場合は数分かかります。)




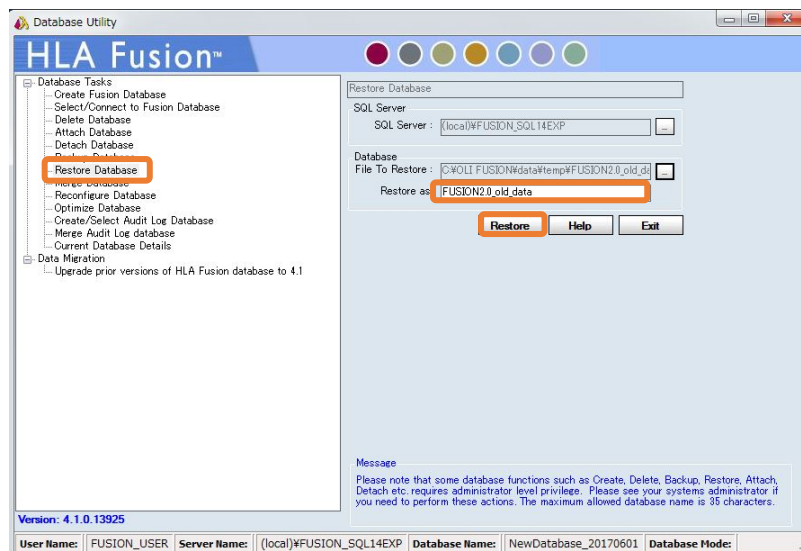
データベースが複数ある場合は、上記の操作を繰り返します。

2. 1 で作成した Back Up ファイルを USB 等にコピーします。Back Up データは OOOO.bak という拡張子のファイルで、下記フォルダに入っています。

C:\OLI FUSION\data\temp

移行先の PC (HLA Fusion4.1 インストール済みのもの) の C:\OLI FUSION\data\temp に .bak データを保存して下さい。

3. HLA Fusion 4.1 の HLA Fusion Database Utility を開き、画面左側の Restore Database をクリックして下さい。その後、画面右側の「File To Restore」の  ボタンから先程保存した .bak ファイルを選択し、Restore をクリックします。データベース名を変更したい場合、Restore as の欄で入力可能です。複数ファイルある場合はこの操作を繰り返します。



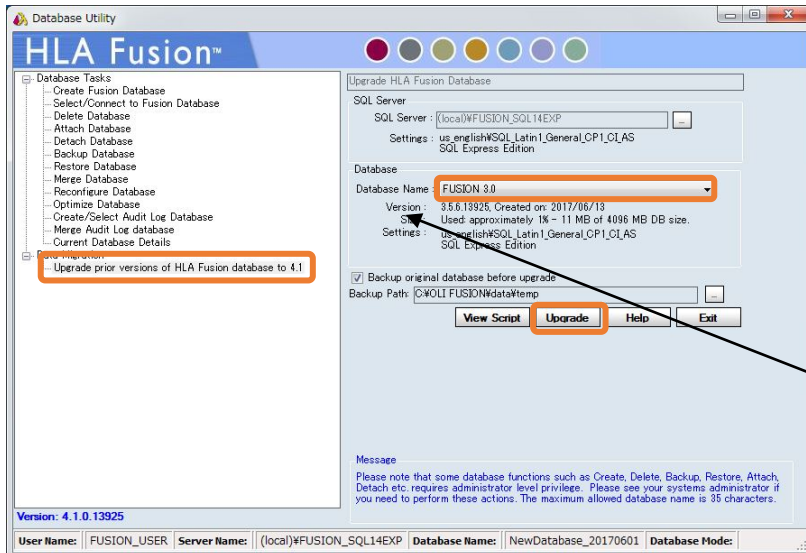
HLA Fusion4.1 ユーザーマニュアル

4. その後、Select/Connect Database からデータベースを接続します。

5. 最後に Database のバージョンを Upgrade します。

画面左側から「Upgrade Prior version of HLA Fusion…」をクリックします。

画面右側より、先程 Restore したデータベースを選択し、Upgrade ボタンを押します。複数ファイルある場合はこの操作を繰り返します。



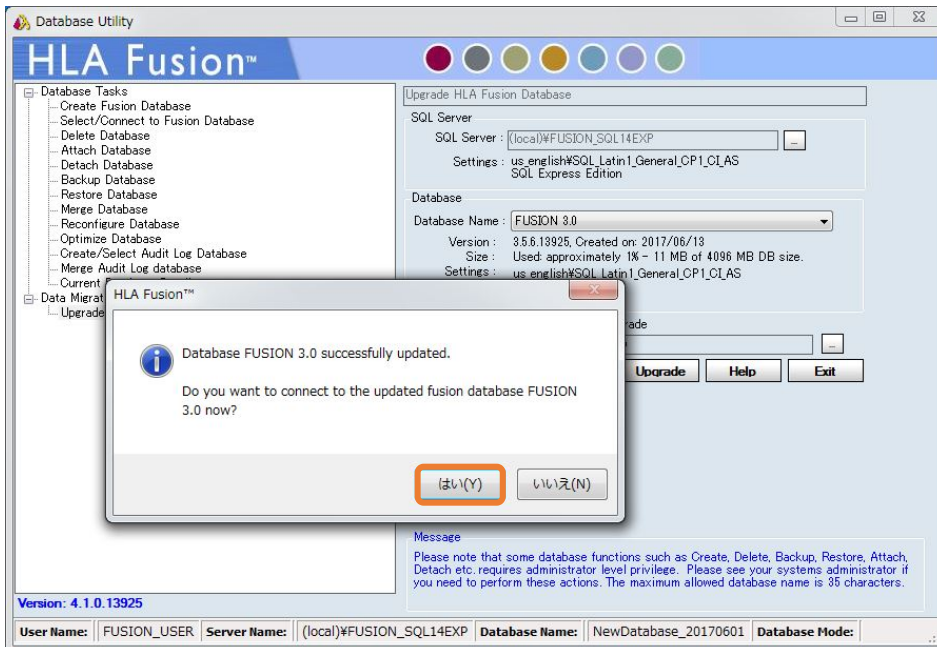
〈データベースの Upgrade〉

Version

- ・ 2.0.2.0sp1~4 → 4.1 ◎
- ・ 3.0~3.5 → 4.1 ◎
- ・ 1.0~1.3 → 4.1 ×

データベース Version が 1.0~1.3 の場合、HLA Fusion2.0 等で一度 2.0 以上にアップデートしてください。

6. Upgrade が終わると、「Database に接続しますか？」と聞かれるので、接続したい場合は、「はい」を選択します。以上でデータベースの移動が終了です。



HLA Fusion4.1 ユーザーマニュアル

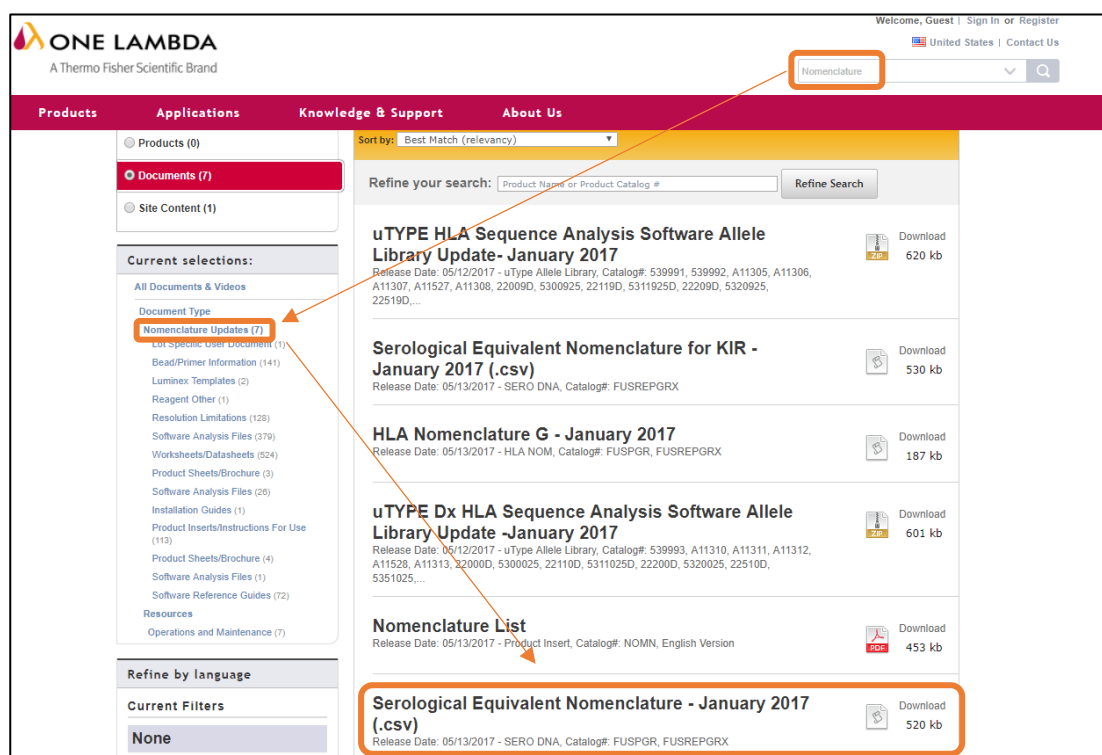
3.3 血清型ファイル（必須）

- ・ 血清型ファイル=Serology Equivalent=Nomenclature
- ・ 血清型ファイルとは解析に使うデータベースの大元で、様々なアレル情報が含まれております。
- ・ One Lambda は年 2 回更新しております。
- ・ 必ず**血清型ファイル** → **NMDP コード** → **カタログファイル**の順にインポートして下さい。

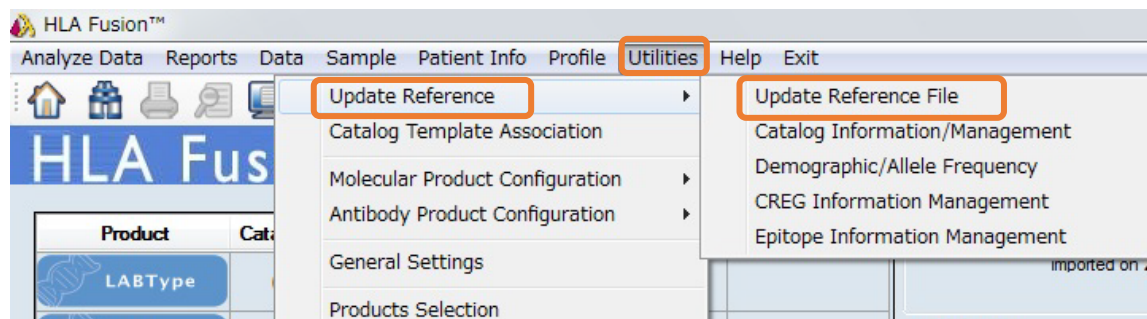
* インストール CD 内のデータは 2017 年 6 月時点での最新カタログが入っております。必要に応じてアップデートを実施してください。

1. 血清型ファイルは One Lambda の web (<http://www.onelambda.com/en/home.html>) から入手できます。

Nomenclature で検索→Nomenclature Update→Serological Equivalent Nomenclature○○



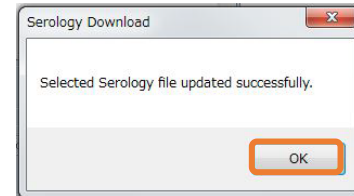
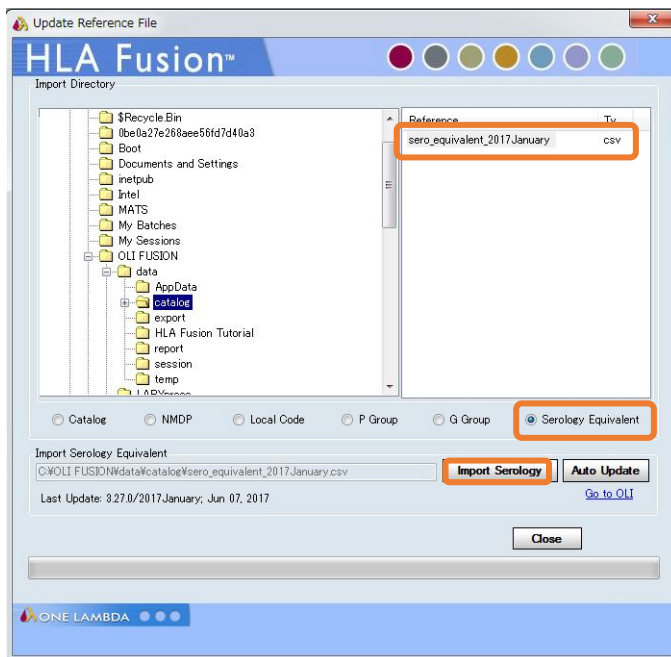
2. ログイン後、Utilities→Update Reference→Update Reference File を開きます。



インストール CD 内のバック
アップデータを用いた場合
User : 1
Pass : 1
でログイン可能です。

HLA Fusion4.1 ユーザーマニュアル

- Update Reference File ウィンドウで Serology Equivalent のボタンをクリックし、“sero_equivalent (HLAFusion2)_OO.csv” を選択し、import serology をクリックして下さい。



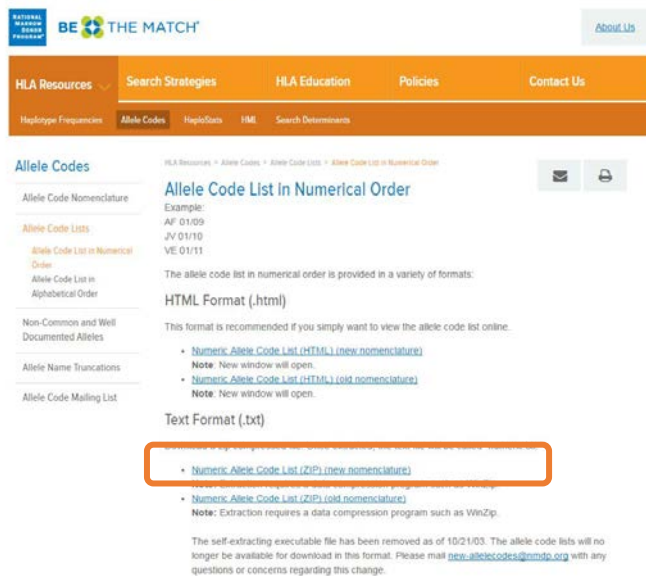
HLA Fusion4.1 ユーザーマニュアル

3.4 NMDP コードのインポート（任意）

NMDP コードとはアメリカ骨髄バンクの定義に基づいた HLA アリルコードです。約週 1 ペースで更新されております。タイピング結果で NMDP コードを使用したい場合、下記からダウンロードしてお使いください。

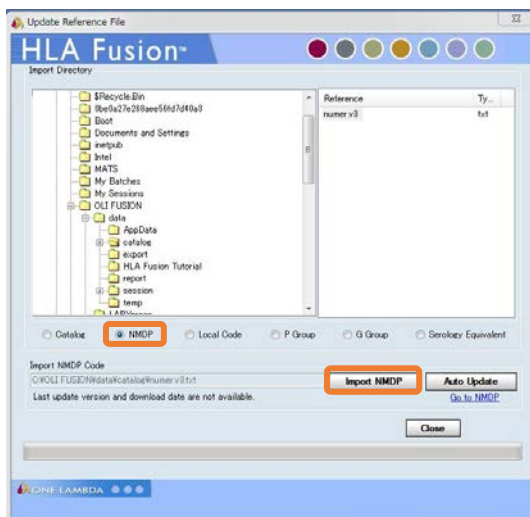
1. numer.txt ファイルの最新版を下記 URL から入手してください。

(http://bioinformatics.nmdp.org/HLA/Allele_Codes/Allele_Code_Lists/Allele_Code_List_in_Numerical_Order.aspx)



* ページ中央辺りの、「Numeric Allele Code List (ZIP) (new nomenclature)」を選択して下さい。

2. Utilities→Update Reference→Update Reference File を開きます。NMDP のボタンを選択し、NMDP コードが入ったファイル“numericOO.txt”というファイルをインポートします。NMDP コードのインポートには、多少時間がかかります。



3. インポートに成功すると、The NMDP code was updated successfully. と出ます。

HLA Fusion4.1 ユーザーマニュアル

3.5 カタログファイル（必須）

カタログファイルのインポートは、次の場合に必要となります。

- ・新しい製品の購入時
- ・製品のロット番号が変更された時
- ・ネガティブコントロール血清のロット番号が変更された時（LABScreenのみ）

血清型ファイル **Serology equivalent ファイル→カタログファイル**の順で import してください。

* インストール CD 内のデータは 2017 年 6 月時点での最新カタログが入っております。必要に応じてアップデートを実施してください。

カタログファイルは、以下のいずれかの方法で入手します。

3.5.1 One Lambda 社 web から入手

1. One Lambda 社 web (<http://www.onelambda.com/en/home.html>) へアクセスします。

例) LABScreen Single Antigen Class I のカタログファイルを探す場合。

Products Knowledge & Support About Us

↑

LABScreenを選択すると、右側に各試薬が表示されます。

LABScreen Single Antigenのファイルをダウンロードする場合…

クリック

LABScreen® Ancillary Reagents
Catalog #: Multiple catalog numbers exist
Ancillary products for use with LABScreen such as control beads and serum, Adsorb Out, and other reagents.

LABScreen® Multi
Catalog #: Multiple catalog numbers exist
LABScreen Multi, a multiplex assay, is a screening tool for antibodies against both the HLA and Human Neutrophil Antigens (HNA).

LABScreen® PRA
Catalog #: Multiple catalog numbers exist
LABScreen PRA is a screening tool that helps to determine percent PRA and identify antibody specificities using a panel of color-coded microbeads coated with HLA antigens...

LABScreen® Single Antigen
Catalog #: Multiple catalog numbers exist
LABScreen Single Antigen is designed to screen HLA class I and class II antibodies that are reactive to one or more dominant epitopes providing clinicians a comprehensive...

2. 製品ページで Product Documentation を選択します

LABScreen® Single Antigen

Donor Specific Antibody Monitoring – A New Standard of Care

LABScreen Single Antigen assays leverage Luminex® bead-based multiplexing to Donor Specific Antibodies (DSA) in high-PRA patients for both pre- and post-transplant single antigen-bead based assay allows for a precise determination of antibody percent PRA or HNA. The proven reliability of LABScreen's consistency, high sensitivity and rapid screening has gained rapid momentum in the transplant community.

Sales Contact
1-800-822-8824, Press Options: 4, 1 sales@onelambda.com

Service Contact
+1 800 822 8824 techsupport@onelambda.com

Contact Us About This Product

Product Description

Overview **Product Documentation**

Refine By:

HLA Fusion4.1 ユーザーマニュアル

3. 下記①～③の順で製品情報を入力し、必要なファイルを選択します。

Title : 製品名 + Lot + (ネガコン血清のロット) + HLAF Catalog File

LS1A04 Lot010 Software Analysis Files(カタログファイル)を選んだ場合

Download	Publish Date	Title	Type	Catalog #	Lot #	Select
	09/30/2016	LABScreen Single Antigen HLA Class I Antibody Detection Test, Lot 010 - CQ11NC4- HLAF Catalog File	Software Analysis Files	LS1A04	010	<input type="checkbox"/>
	09/30/2016	LABScreen Single Antigen HLA Class I Antibody Detection Test, Lot 010 - CQ11NC5- HLAF Catalog File	Software Analysis Files	LS1A04	010	<input type="checkbox"/>
	08/30/2016	LABScreen Single Antigen HLA Class I Antibody Detection Test, NC16 - Lot 010 - HLAF Catalog File	Software Analysis Files	LS1A04	010	<input type="checkbox"/>
	08/30/2016	LABScreen Single Antigen HLA Class I Antibody Detection Test, NC15 - Lot 010 - HLAF Catalog File	Software Analysis Files	LS1A04	010	<input type="checkbox"/>

目的のファイルをダウンロードします。ダウンロード方法は2つ、どちらでもかまいません。

- 画面左の矢印ボタンをクリック
- 画面右側にチェックを入れDownloadをクリック

LABType CWD/XR Software Analysis Files(カタログファイル)を選んだ場合

Download	Publish Date	Title	Type	Catalog #	Lot #	Select
	05/12/2017	LABType XR Class II DRB1 Typing Test, Lot 004-HLAF Catalog File-RUO	Software Analysis Files	RSSOX2B1R, RSOX2B1TR	004	<input type="checkbox"/>
	05/12/2017	LABType CWD Class I A Locus Typing Test, Lot 004-HLAF Catalog File-RUO	Software Analysis Files	RSSOW1AR	004	<input type="checkbox"/>
	05/12/2017	LABType XR Class I B Locus Typing Test, Lot 004-HLAF Catalog File-RUO	Software Analysis Files	RSSOX1BR	004	<input type="checkbox"/>
	05/12/2017	LABType CWD Class I A Locus Typing Test, Lot 004-HLAF Catalog File-IVD	Software Analysis Files	RSSOW1A	004	<input type="checkbox"/>
	05/12/2017	LABType XR Class II DRB1 Locus Typing Test, Lot 004-HLAF Catalog File-IVD	Software Analysis Files	RSSOX2B1, RSOX2B1T	004	<input type="checkbox"/>

HLA Fusion4.1 ユーザーマニュアル

(* 参考 テンプレートファイル)

LS1A04 Lot010 Luminex Template(テンプレートファイル)を選んだ場合

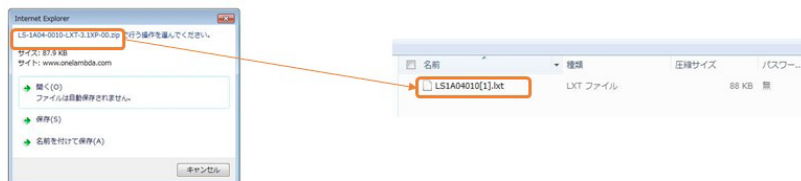
Download

LABScreen Single Antigen (4)

Download	Publish Date	Title	Type	Catalog #	Lot #	Select
	08/30/2016	LABScreen Single Antigen HLA Class I Antibody Detection Test - Lot 010 - Luminex 3D Template v4.2 ①	Luminex Templates	LS1A04	010	<input type="checkbox"/>
	08/30/2016	LABScreen Single Antigen HLA Class I Antibody Detection Test - Lot 010 - Luminex 200 Template v4.2 ②	Luminex Templates	LS1A04	010	<input type="checkbox"/>
	08/30/2016	LABScreen Single Antigen HLA Class I Antibody Detection Test - Lot 010 - Luminex Template v3.1 ③	Luminex Templates	LS1A04	010	<input type="checkbox"/>

使用環境に応じて目的のファイルをダウンロードします。
 それぞれファイル形式が違うので、正しいファイルを選んでください。
 LABScan3DシステムでxPONENT4.2を使用・・・①
 LABScanシステム(Luminex200)でxPONENT4.2を使用・・・②
 LABScanシステム(Luminex200)でxPONENT3.1を使用・・・③

zip形式でダウンロードされるので、中にあるファイルを解凍してお使いください。



LABType CWD A Locus / LABType SSO A Locus の場合

LABType XR and CWD (1)

Download	Publish Date	Title	Type	Catalog #	Lot #	Select
	12/21/2016	LABType CWD Class I A Locus Typing Test, Lot 004 - ①	Luminex Templates	RSSOW1A ,RSOW1AT	004	<input type="checkbox"/>

LABType SSO (3)

Download	Publish Date	Title	Type	Catalog #	Lot #	Select
	05/15/2015	LABType SSO Class I A Locus Typing Test, Lot 015- Luminex Template-xPONENT v3.1 ②	Luminex Templates	RSSO1A ,RSO1AT	015	<input type="checkbox"/>
	05/15/2015	LABType SSO Class I A Locus Typing Test, Lot 015- Luminex Template-xPONENT v4.2 ①	Luminex Templates	RSSO1A ,RSO1AT	015	<input type="checkbox"/>

LABType も LABScreen と同様にファイルが表示されます。

LABScan3D システムで xPONENT4.2 を使用・・・①

LABScan システム (Luminex200) で xPONENT4.2 を使用・・・②

LABScan システム (Luminex200) で xPONENT3.1 を使用・・・②

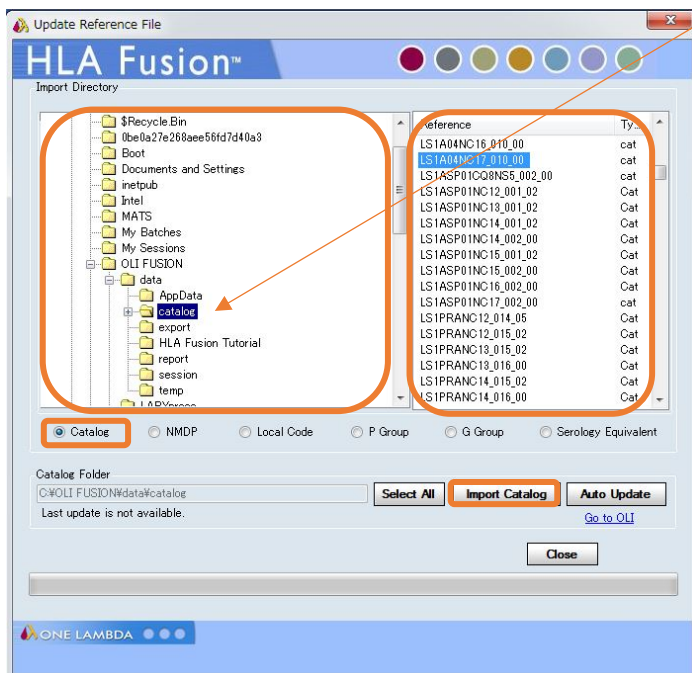
5. 必要なファイルをダウンロードし保存します。保存場所に指定はありませんが、HLA Fusion は以下のフォルダを参照しているので、下記に保存すると HLA Fusion からのアクセスがスムーズです。



C ドライブ>OLI Fusion>data>catalog ファイル

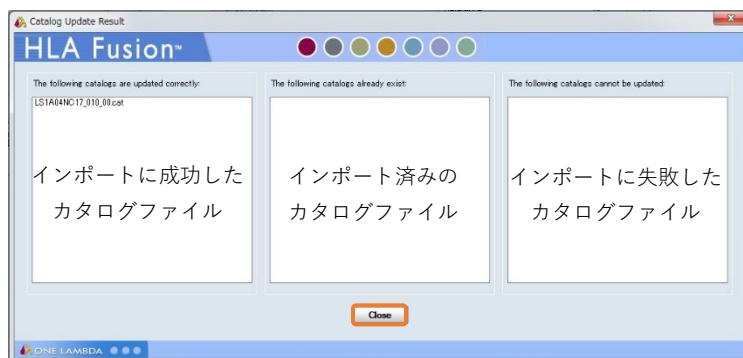
HLA Fusion4.1 ユーザーマニュアル

6. ログイン後、Utilities→Update Reference→Update Reference File を開き、Catalog のボタンを選択し、左側のカラムからインポートしたいカタログファイルがあるフォルダを選択します。



インストール CD 内のバック
アップデータを用いた場合
User : 1
Pass : 1
でログイン可能です。

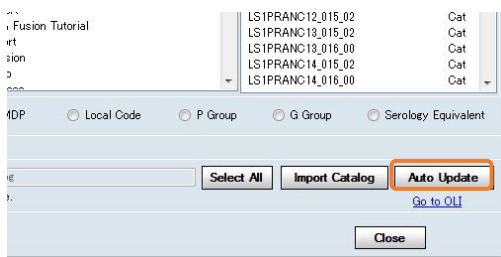
7. 右側のカラムに出たすべてのファイルをインポートするときは Select All→Import Catalog を、特定のファイルをインポートするときは右側のカラムからファイルを選択し Import Catalog をクリックします。
8. インポートが終了後、下図のウィンドウが現れます。結果を確認し Close して下さい。



3.5.2 Auto Update について(注意)

1. HLA Fusion2.0、3.0 等では使用できた機能ですが、Auto Update のリンク先が古くなっており、最新版のカタログが取り込まれない場合がございます。

One Lambda 側で web 移行が完了次第ご連絡いたしますので、3.5.1 の手順をお勧め致します。



HLA Fusion4.1 ユーザーマニュアル

3.5 日本人フィルター

日本人アレルフィルター(ver XX _ 201X Japanese_allelefilter.csv)を年2回弊社から配布しております。骨髄バンク統計資料、HLA 研究所研究データをもとに作製しており、HLA Fusionに適用することでタイピングしたアレルを下記の通り表示させます。

- G1 : 対立遺伝子の両方とも日本人頻度 0.01%以上
- G2 : 対立遺伝子の片方が 日本人頻度 0.01%以上
- G3 : 対立遺伝子の両方とも日本人頻度 0.01%未満

なお、上記アレル頻度の統計資料では4桁までの記載ですが、血清型ファイルでは6桁、8桁までタイピングされてアレル情報が増えております。日本人頻出アレルのうち血清型ファイルで6桁、8桁目がタイピングされている場合、本フィルターでは原則として6桁、8桁目が01のアレルを採用しております。

- 例) A*24 : 02 のケース
上記統計資料では A*24 : 02 の4桁頻度のみ公開されており、血清型ファイルでは A*24 : 02 : 01 : 01 までタイピング済みの場合、アレルフィルターでは A*24 : 02 : 01 : 01 を日本人頻出アレルとして採用。(A*24:02:01:02L、A*24:02:01:03 など是不採用です)

例外として、日本組織適合性学会等での公表や研究発表された6桁、8桁の日本人頻度情報がある場合はその情報を採用します。

1. インストール CD 内、あるいは web から日本人アレルフィルターを入手してください。

弊社 web / HLA コミュニティ-各種ファイルのダウンロード方法

<http://www.veritastk.co.jp/news.php?id=905>



2. 血清型ファイル(sero equivalent)、アレルフィルター

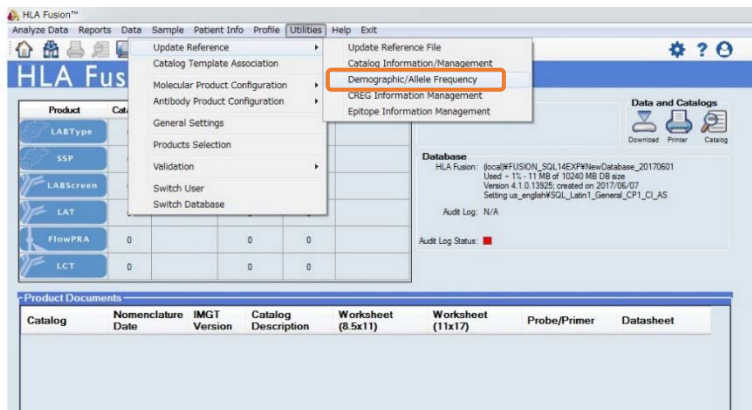
血清型ファイル(sero equivalent Jan 2017)

*外部リンク・One Lambdaホームページに飛びます。
リンク先の'Serological Equivalent Nomenclature - January 2017 (.csv)'を保存してください。
LABType KIR (SSO) をお使いのお客様のみsero_equivalent_2000.csv(KIR)をお使いください。*
Fusionへインストール方法はこちらをご参照ください。

アレルフィルター日本人版 (ver.1 2017年)、外国人版 (2013年CWD)

は類(zip)ファイルをダウンロードし、解凍してください。
Fusionへインストール方法はこちらをご参照ください。

2. ログイン後、Utilities→Update Reference→Demographic/Alelle frequency を開きます。



インストール CD 内のバックアップデータを用いた場合
User : 1
Pass : 1
でログイン可能です。

HLA Fusion4.1 ユーザーマニュアル

3. 下図の順に操作します。

① Create...を選択し

② ...からダウンロードした ver XX _ 201X Japanese_allelefilter.csv を 選択します。

③ Import を選択します。

Select	Name
<input checked="" type="checkbox"/>	ver1_Japanese_2017_Jan_GF>0.01%

Allele/Sero	Frequency
A*01:01:01:01	0.452
A*01:01:01:0...	
A*01:01:02	
A*01:01:03	
A*01:01:04	
A*01:01:05	
A*01:01:06	
A*01:01:07	

Active	Name	Rare Alleles	Comments
<input checked="" type="checkbox"/>	CWD_TDX_327.0	<input type="checkbox"/>	

Allele/Sero	Frequency
A*01:01	1
A*01:01:01	1
A*01:01:01:01	1
A*01:01:01:02N	
A*01:01:01:03	
A*01:01:01:04	
A*01:01:01:05	

4. Import が成功すると下記メッセージが表示されます。

The Allele frequency is imported successfully.

OK

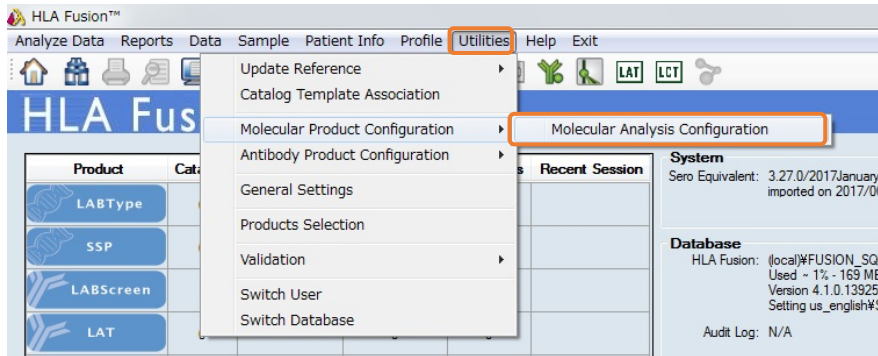
取り込んだフィルターにチェックが入っている確認し、Save して Close してください。

Active	Name	Rare Alleles	Comments
<input checked="" type="checkbox"/>	CWD_TDX_327.0	<input type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	ver1_Japanese_2017_Jan_GF>0.01%	<input type="checkbox"/>	

Allele/Sero	Frequency
A*01:01	1
A*01:01:01	1
A*01:01:01:01	1
A*01:01:01:02N	
A*01:01:01:03	
A*01:01:01:04	
A*01:01:01:05	

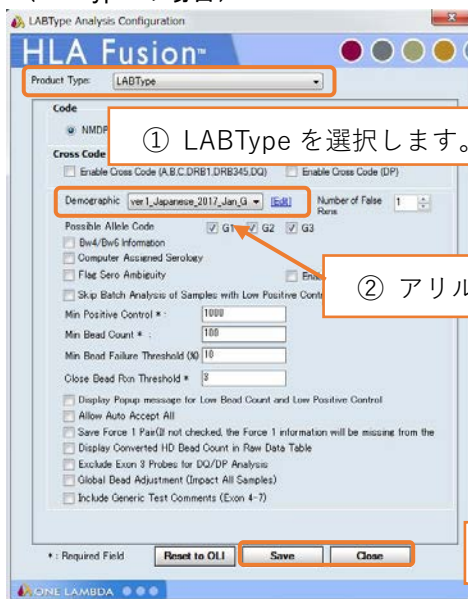
HLA Fusion4.1 ユーザーマニュアル

5. Utilities→Molecular Product Configuration→Molecular Analysis Configuration を開きます。

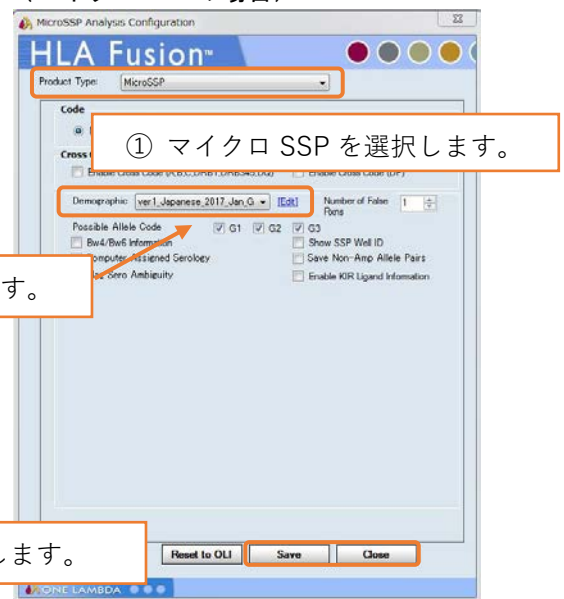


6. 下図の様に設定します。

(LABType の場合)



(マイクロ SSP の場合)



4. 困ったときは

4.1 問い合わせ先

株式会社ベリタス
バイオサイエンス本部技術グループ
TEL : 03-5776-0040
Mail : techservice@veritastk.co.jp

- * お問い合わせの際、
- ・ OS のバージョン
 - ・ HLA Fusion のバージョン
 - ・ 使用試薬、Lot
 - ・ エラー等が出ている場合はスクリーンショットなどの情報を記載頂けるとスムーズです。

HLA Fusion4.1 ユーザーマニュアル

4.2 FAQ

〈インストール / データベース〉

- インストールが成功しません
インストール環境は対応していますか？
Windows XP や 10 では HLA Fusion のデータベースを構築できずインストールができません。
- インストールに時間がかかります。
お手数おかけします、PC のスペックや環境により時間がかかってしまうケースがあるようです。
HLA Fusion 本体のほか、NMDP コードのインポートも時間がかかります。
- データベースの Upgrade ができません。
データベースのバージョンは HLA Fusion 2.0 以上ですか？2.0 より古いバージョンのデータは HLA Fusion4.1 で Upgrade できません。HLA Fusion2.0~3.5 を使ってデータベースを HLA Fusion 2.0 以上にしてから改めて Upgrade してください。

〈各種ファイル〉

- HLA Fusion に必要なファイルを教えてください。

名称	ファイルの種類	用途
カタログファイル	.cat	HLA Fusion の解析に用います。解析結果を表示するためのアリル情報、ビーズ情報、QC 結果が記載されています。
テンプレートファイル =Protocol ファイル	.lxt .lxt2	Luminex の測定に用います。 どのビーズを認識し測定するか、といった情報が含まれております。
血清型ファイル =Nomenclature =Serological Equivalent)	.csv	HLA Fusion の解析で使うアリル情報です。 IMGT データベースの情報を元に One Lambda 社で作製しております。


- カタログファイルはどこでダウンロードできますか？
One Lambda 社の web サイト (<http://www.onelambda.com/en/home.html>) をご参照ください。
ダウンロード後のインポート手順は p18 「3.5 カタログファイル」をご参照ください。

- カタログファイルの見方が分かりません。

(例) web 表記

02/28/2017	LABScreen Single Antigen HLA Class I Antibody Detection Test, NC17 - Lot 010 - HLA Catalog File	Software Analysis Files	LS1A04	010
------------	---	-------------------------	--------	-----

ダウンロードしたファイル

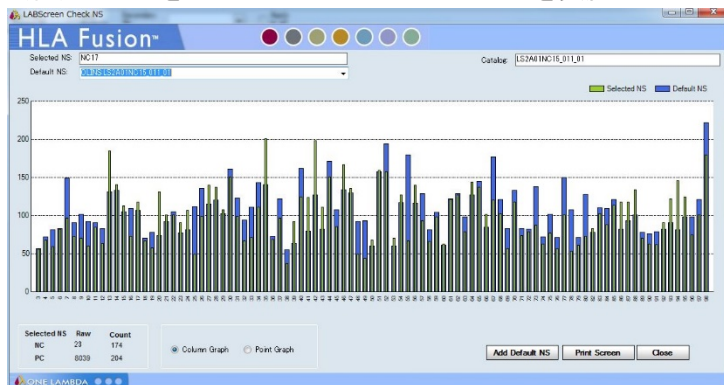
 LS1A04NC17_010_00

(製品名) + (ネガティブコントロール血清の Lot) + (製品 Lot) + (カタログファイルのバージョン)
LS1A04 NC017 010 00

- カタログファイルの更新頻度を教えてください。
具体的な頻度をお示しするのは難しいのですが、原則としてメーカーでは Lot 変更時、血清型ファイル変更時にアップデートされます。それ以外でも適宜改定される場合がございます。

HLA Fusion4.1 ユーザーマニュアル

5. 古いカタログファイル/NC 血清が異なるカタログファイルを使うと問題がありますか？
製品 Lot 変更によりビーズ情報が変更になるケースがございます。カタログファイルが古いままだとその変更が反映されず、正しい解析結果が出ない可能性がございます。
ネガティブコントロール血清の Lot が異なると、HLA Fusion 取り込み時の Check コントロールで異常値が出る、グラフが一致しないといった可能性がございます。
(例) NC017 を NC015 で Check コントロールを実施

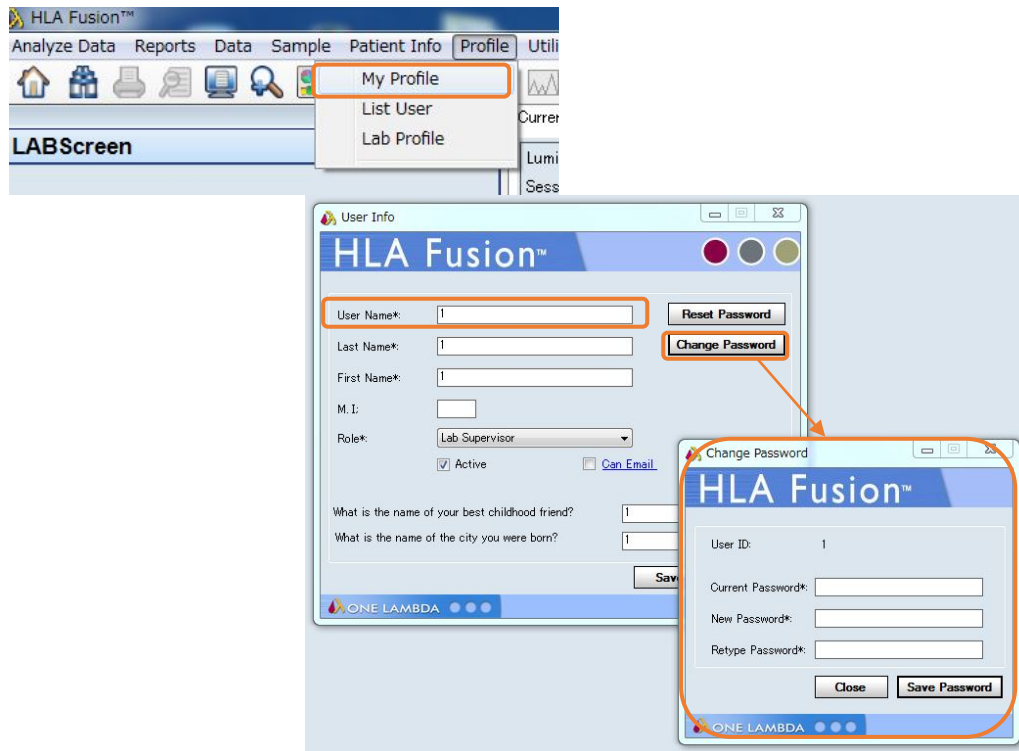


6. テンプレートファイルはどこでダウンロードできますか？
One Lambda 社の web サイト (<http://www.onelambda.com/en/home.html>) をご参照ください。
ダウンロード後のインポート手順は別紙 xPONENT4.2 ユーザーマニュアル等をご参照ください。
7. テンプレートファイルの更新頻度を教えてください。
具体的な頻度をお示しするのは難しいのですが、原則としてメーカーでは Lot 変更時にアップデートされません。それ以外でも適宜改定される場合がございます。
8. 古いテンプレートファイルを使うと問題がありますか？
製品 Lot 変更によりビーズ情報が変更になるケースがございます。テンプレートファイルが古いままだとその変更が反映されず認識できなビーズが発生し、測定の際にエラーが生じる・ビーズカウントが0になるといったケースがございます。
9. 血清型ファイルはどこでダウンロードできますか？
One Lambda 社の web サイト (<http://www.onelambda.com/en/home.html>) をご参照ください。
ダウンロード後のインポート手順は p15 「3.3 血清型ファイル」をご参照ください。
10. 血清型ファイルの更新頻度を教えてください。
年 2 回更新がございます。
IMGT データベース更新に伴い One Lambda 社で約半年程掛けて作製するので、
IMGT データベース更新 2016 年 1 月
血清型ファイルの公開 2016 年 7 月
となります。
11. 古い血清型ファイルを使うと問題がありますか？
アレル情報の追加、修正が反映されず、正しい解析結果が出ない可能性がございます。

HLA Fusion4.1 ユーザーマニュアル

〈その他〉

1. 〇〇の解析について教えてください。
恐れ入ります、本マニュアルではインストールに関する記載のみです。
別紙、HLA Fusion4.1_解析マニュアルをご参照ください。
2. ログインパスワード、ユーザー名を変更したいです。
Profile>My Profile を選択し、User Info で変更可能です。
設定変更後は Save ボタンをクリックしてください。



VERITAS USER MANUAL

日本総代理店

株式会社

ベリタス

〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目10-14
住友東新橋ビル3号館5階
TEL.03-5776-0078(代) FAX.03-5776-0076
E-mail: veritas@veritastk.co.jp
<http://www.veritastk.co.jp/>